

質問事項 1 の選択肢について

No.	選択肢	説明	根拠(国「第4期教育振興基本計画」) ※内容は一部要約や編集を行っています	
			内容	ページ
1	周りの人と協力しながら、一緒に成果を上げる力を持つ人	(協働力やコミュニケーション能力)	【基本方針①】 他者と協働しチームで問題を解決するといった能力の育成	p. 11
2	柔軟に対応しながら問題を解決していく人	(レジリエンスや持続的な努力)	【基本方針①】 問題の解決に向けて自分で考え、行動する力や行動等を変容する力を身に付けるための教育	p. 13
3	計画を立てて目標を実現する力を持つ人	(計画力や自己管理能力)	【基本方針②】 児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかける	p. 18
4	自ら課題を見つけ、解決できる人	(課題解決型の学びを通じて問題を乗り越える力)	【目標 1】 新しい時代に求められる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を含む)の育成	p. 36
5	社会で役立つ知識やスキルを活用することができる人	(学校で学んだことを実生活で生かす力)	【目標 1】 児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成	p. 38
6	自分の考えをわかりやすく伝えることができる人	(プレゼンテーションや表現力)	【目標 1】 知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の確かな学力の育成	p. 36
7	健康を管理し、心と体を大切にできる人	(健康やウェルビーイングへの意識)	【目標 3】 生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成するとともに、生活習慣の確立や学校保健の推進等により、心身の健康の増進と体力の向上を図る	p. 44
8	グローバルな視野を持ち、様々な環境で働きたいと考える人	(国際的な競争力やグローバルな適応力)	【目標 4】 伝統や文化を尊重し、郷土や他国への理解を深めつつ、豊かな語学力や異文化理解、コミュニケーション能力を備え、国際社会で主体的・積極的に貢献できる人材の育成	p. 47

No.	選択肢	説明	根拠(国「第4期教育振興基本計画」) ※内容は一部要約や編集を行っています	
			内容	ページ
9	新しいことに挑戦し続ける人	(創造性や挑戦意欲)	【目標 5】 新たな価値を生み出す創造性を有して既存の様々な枠を越えて活躍できる、イノベーションを担う人材の育成	p. 50
10	積極的に社会の発展に貢献したいと考える人	(責任感やリーダーシップ)	【目標 6】 社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力の育成	p. 53
11	デジタル技術を使いこなすことができる人	(情報活用能力や ICT スキル)	【目標 11】 情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題の発見・解決や情報の真偽の吟味、異なる情報の統合を通じて新たな価値を創造し、情報社会の発展に寄与する力の育成	p. 66